

# ヤマザクラ

2024 年（令和 6 年）4 月 22 日（月）発行

## 湯の岳山荘の閉鎖

理事長 木田章一

2024 年 3 月 31 日で湯の岳山荘は閉鎖となりました。当会では 2004 年 6 月に NPO 法人の認証を受け、翌年 4 月から指定管理者として湯の岳山荘を管理してきました。ここを管理することにより、事務所機能をおくことができました。2001 年 10 月の設立以来、事務連絡場所を福島高等専門学校に置かせていただき、その間大変お世話になりました。

また、同じ時期の 2005 年から労働金庫連合会の支援を受けることになり、湯の岳山荘周辺の環境整備を行ってきました。主なものに森の工房、ピザ窯、炭焼き窯、自然エネルギー施設（風力、太陽光、水車、足湯）等です。また、クヌギの薪炭林を作るため数年前からクヌギの植樹を行ってきました。その他、会員の活動の場や学校支援、チェーンソー・刈払い機械の取扱い研修の場等さまざまなことを湯の岳山荘を利用して活動してきました。この湯の岳山荘があったからこそ、当会の活動ができたものと思います。この建物は 2024 年度に解体はせず、市から使用許可をもらい使用できますので、毎月第 3 日曜日の「ろうきん森の学校」をはじめ森林整備班、木工班、プログラム班の活動はこれまでどおり実施できます。

2023 年度の湯の岳山荘利用者は年間 3,491 人があり、昨年比 42%の増でした。まだまだ市民には、この場所がわかりづらいことや、施設の名称が林業研修センター「湯の岳山荘」の名称も影響しているかも知れません。

今後は、広場にあるプレハブ小屋に事務所機能を移し、ヘルメット等の備品を入れる小さな倉庫を建てたいと思います。今年度、市では解体費用を算出し一般公募をすると聞いています。是非、この施設を経営してもよいと思う方が出てくることを願っています。

長年、施設を利用いただき感謝いたします。そして、存続できた暁には、これまで以上によい環境にしていきたいと思います。



以下に主な施設の写真を掲載します。



①森の工房



①-1 工房内木工機械



①-2 木工ロクロ



②ピザ窯



③炭焼き窯



⑤風力・太陽光施設



⑥水車



⑦足湯

## 2023 年度湯の岳山荘利用状況

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
山荘	38	96	40	37	222	119	139	102	65	73	108	195	1,234
(うち市外)	(31)	(73)	(30)	(35)	(217)	(109)	(128)	(92)	(43)	(72)	(100)	(179)	(1,109)
バンガロー	0	54	5	0	4	20	86	4	0	0	4	0	177
研修室	100	230	124	123	64	126	215	198	284	109	138	124	1,835
BBQ	21	42	0	3	22	39	0	60	0	0	60	0	247
計	159	422	169	163	312	304	440	362	349	182	310	319	3,491
ロックライミング	—	—	—	—	—	—	16	52	27	38	75	75	283

利用者数は昨年5月にコロナが解除され、2022年度の2,458人から2023年度は3,491人と42%増加しました。山荘宿泊者1,234人のうち1,109人、90%が市外客でした。宿泊者で特別な利用者では、ロックライミングの宿泊者は283名で2022年の199人から増えました。昨年9月の豪雨災害支援には、国際ボランティア学生協会の学生が延べ5日間で156人、三重県津のレスリング合宿で延べ4日間、76人が宿泊しました。多くの利用者から廃止を惜しむ声が聴かれました。

### 【森林整備班の活動報告】

#### 1 定例活動

湯ノ岳山荘が廃止になるため、森の工房周囲の廃棄木を処分したり、倉庫の整理を主に行った。炭窯は当会のものなので陥没ないようにクヌギを入れたが火入れはしていない。

(2024,1,4~3,31) (記：木田)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
1/6	土	晴	作業計画打ち合わせ	8
10	水	晴	栗園跡地ホダ木準備	5
17	水	晴	炭窯にクヌギ入れ	3
20	土	曇	薪割り	7

24	水	晴	炭窯にクヌギ入れ	5
31	水	晴	栗園跡地、植菌用サクラ伐採	5
2/3	土	晴	栗園跡地クヌギ萌芽木整理	4
7	土	晴	作業休み	—
14	水	晴	除伐木玉切り	6
17	土	晴	〃	6
21	水	雨	チェーンソー講習会準備	4
28	水	晴	バンガロー東側草刈り	4
3/2	土	晴	バンガロー東側クヌギ剪定	6
6	水	小雨	大倉庫整理	2
13	水	晴	不用木処分（遠野興産運搬）	5
16	土	晴	〃	6
20	水	曇	打ち合わせ	2
27	水	晴	工房裏倉庫整理	6
30	土	晴	休み	—
計				84



## 【農業班の活動報告】

### 1, 活動報告（1～3月）

冬の作業は、土づくりのために落ち葉を集めて堆肥をつくります。

また、畑のために寒起こしをしました。3月4日には、さつまいもの種を苗床に伏せました。3月末には少し芽が出てきています。農業班では有機肥料（トンプン堆肥）と化成肥料（8-8-8）を用いていますので安心して食用できます。

(2024,1,1～3,31) (記：鈴木邦)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
1/8	月	晴	ハウス内整理	3
13	土	晴	さつまいも畑に堆肥、寒起こし	8
15	月	晴	堆肥作り	7
22	月	晴	ハウス内の堆肥を畑に入れる	6
27	土	晴	ハウス内の苗床作り	6
29	月	晴	山荘周囲で落葉を集める	7
2/5	月	曇	堆肥作り、玉ねぎ草引き	7
10	土	晴	落葉を集めて堆肥作り	8
12	月	晴	下の畑の草引き、管理機かけ	4
19	月	曇	ラッキョウ草引き、土寄せ	7
24	土	曇	側溝の土あげ	6
26	月	曇	ハウス内草引き	4
3/4	月	晴	ジャガイモ植付（北アカリ、デストロイヤー）、苗床にさつまいも伏せ	7
9	土	晴	里芋畑草引き	5
11	月	晴	ジャガイモ植付、ニンジン種まき	6
18	月	晴	遠野農園よりトンプン運び、袋詰め作業	6
23	土	曇	自然学校でジャガイモ植え付け（参加4名）	8
25	月	曇	トンプンをハウス内に入れる	6
計				111

## 【観察班の活動報告】

1 令和6年1月7日（日） 2 令和6年2月4日（日） 湯ノ岳山荘フィールド内観察

1月、2月は、令和5年の振り返り、および令和6年の観察予定地決めの話し合いを湯ノ岳山荘研修室で行いました。

今まで会員限定で、親しむ会より保険をかけていただき実施していましたが、令和6年からは、会員に限らず、観察に関するスキルアップの充実を目指し（一般の参加可）実施していくことで確認しあいました。



### 3 令和6年3月3日(日) 石森山遊歩道 参加者16名

一週間前の下見は雪景色となりましたが、3月3日当日は晴天。しかし、まだまだ木々は冬芽の状態。葉っぱをつけていない木が何か?・・・「難しい!!」

時々下に目を向けると [タチツボスミレ] の花がやっと咲き始め、また [マンサク] の花もところどころ咲かせていました。

また、この日は、今年初めての [カナヘビ] を見られました。私たちの足音に気づいてか、微動だにせず、木枝に同化しているその姿に見とれ、中には見つけられない方も! 私たちもしばらくその場から動けませんでした (笑)

(記: 円谷)



### 【木工班の活動報告】

木工班はこの度、日ごろの私たちの作品を展示会に出展参加しました。3月3日～10日の一週間、鉄の彫刻家、安斎重夫先生と協賛者たちで、能登半島地震のチャリティー展がギャラリー笑福で開催され、それに出品しました。

木工細工、羊毛フェルト、クラフトバック、吊るし雛など多数の作品があり、大勢の方が訪れて好評のうちに終わりました。

我々、木工班の作品も人気があり、楽しい経験となりました。これを機会に、また参加させていただきたいと思います。

(記: 野木)

木工班女子部は1～3月は檜の寿司ゲタ、朴の木のカッティングボード、山椒のすりこ木等の実用的な家庭用品を作成しています。

また木工クラフトの材料作り、教室の準備に時間を割きました。

定例の活動以外に、2月に木工クラフト教室の指導に出向き地域の方々と交流を深めました。



## 【プログラム班の活動報告】

### 1. 学校・幼稚園等の支援活動

今期は1月に1回、2月に3回、3月に1回、合わせて5回の支援を行いました。

その活動の内訳は別表のとおりです。

その支援の活動のようすは、次の写真のとおりです

#### 学校等における学習支援活動 (1/1~3/31)

No.	月 日	学校名	学年	学 習	参加者数	支援者数
1	1月25日(木)	平六小	3	総合学習	42	11
2	2月21日(水)	藤原小	3	総合学習	20	5
3	2月26日(月)	錦東小	3	総合学習	32	9
4	2月29日(木)	平六小	3	総合学習	40	10
5	3月1日(金)	中央台北小	4	総合学習	36	10
計					170	45

### 2. その他の支援活動

- ・特になし



### 【桜の木の伐採】

桜の季節には、来荘者が楽しみにしていた池脇の桜の木が老木になり枯枝が落ちてきて、駐車場にとめた車の屋根に落ちることが心配になったため、1本を根本から伐採し、残りの木は枯れ枝を伐採しました。



### 【イチョウの伐採】

秋には沢山のギンナンがなるイチョウが込み合ってきたので、オスの木1本を伐採してスッキリにしました。



施工前



施工後

### 【ろうきん森の学校・自然体験活動の活動報告】

1 令和6年1月21日（日） 参加者31名

- (1) 自然観察会 「冬芽とロゼットを探そう」 (2) 自然体験「もちつき」
- (3) 木工クラフト「団子さし」 (4) 季節の料理「あんこ餅、きなこ餅等」

#### <だんごさし>

福島には小正月に、家族の無病息災や家内安全、五穀豊穡を願う「だんごさし」という風習があります。

雪景色で花のない季節に少しでも彩りをもたせるという意味もあるそうです。

森の学校では、「うまい棒」も飾り付けました！





2 令和6年2月18日（日） 参加者 64名

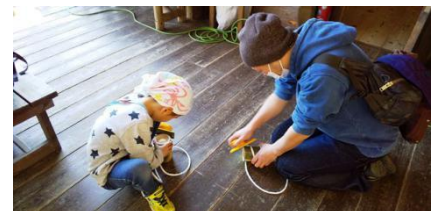
- (1) 自然観察会 「冬の森で遊ぼう」 (2) 自然体験「丸太切り体験」  
(3) 木工クラフト「竹ぼっくり」 (4) 季節の料理「豚汁、炊き込みご飯」

<自然観察会> 大人班は、主にネイチャーゲームが主体の楽しい自然観察会でした。

ネイチャーゲームは3つ

- ①目隠して目標とする人に歩いて近づく
- ②樹木、草花と対話し貰った番号札を付け、付けたところで何を話したのかを説明する
- ③樹木の表面に紙を押しあて、その上からクレヨンで木肌模様が浮き出るように塗る

自然観察はジャノヒゲの実を見つけたり、ドウダンツツジの満点星の異名を教わったり、キョウチクトウのところで毒性を再確認する等をして行いました。



3 令和6年3月17日（日） 参加者 53名

- (1) 自然観察会 「早春の野草を探そう」 (2) 自然体験「キノコの植菌体験」  
(3) 木工クラフト「木の枝えんぴつ」 (4) 季節の料理「春野菜カレー」

<自然体験・キノコの植菌体験>

親しむ会で育てたコナラのホダ木にドリルで穴を開け、シイタケの駒菌を打ち込みます。

キノコ職人の松本さんの指導のもと、参加者は一連の工程を体験しました。

シイタケが出るのは、2年後。待ち遠しいですね😊

(記：馬場口)



## 【湯の岳自然学校 in いわき・活動報告】

### 1 令和6年1月27日（土）（マガジンラック・魔法の杖作り・木工班）

#### (1) 実施内容

マガジンラックは薄い板にクギを打ち付けるのに苦労していたが、親子で協力しながら最後まで製作していた。魔法の杖は、いろいろある小枝から好きなものを選び、先をとがらせリボンを巻いて出来上がり。2つと同じものはない魔法の杖が出来上がった。

(2)参加者数 5家族14名



### 2 令和6年3月23日（土）（ジャガイモ栽培体験・農業班）

#### (2) 実施内容

今回の栽培体験は、植え付けだけでなく収穫までの芽欠き、土寄せ作業を行ってもらいます。植えた種類はキタアカリとデストロイヤーを1列15株植え、最終日の6月22日には植えたすべてを持って帰ってもらいます。

(2)参加者数 2家族4名

### 3 令和6年3月24日（日）常緑の森観察会・三崎公園 一般参加3名 会員参加15名

当日は、気温も上がり、歩いていると汗ばむくらいの良いお天気でした。

常緑樹の観察はもちろんですが、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ショウジョウバカマ等の花も咲きはじめており、オオシマザクラ（？）も開花をはじめていました。

一般の参加者は、リーダーの説明に耳を傾け、質問する姿も見られ、有意義な時間となったようでした。



## 【会員によるオブジェ作品】

廃材を利用した作品をつくる会員がいて、野外のいたるところに作品がありますが、ロビーには魚の作品があります。しかし閉鎖となったことから見られないのが残念です。好間の「木もれび」にも作品があります。

